

平成17年度 第1回メダカ遺伝資源小委員会準備委員会議事録

日時：平成17年8月18日(木)15時～17時

場所：名古屋大学グリーンサロン東山会議室

出席者：長濱嘉孝(議長)、井口泰泉、石川裕二、工藤 明、近藤寿人、武田洋幸、堀 寛、山崎由紀子、若松佑子、

オブザーバー：荒木和男、木下政人、古賀章彦、田中 実、安増茂樹、

文部科学省研究振興局：野島久美恵、竹内佑介

事務局：橋本寿史

欠席者：岡本 仁、酒泉 満、柴田直樹、三谷啓志、(以下オブザーバー)成瀬 清

議事：メダカバイオリソースの将来構想

「メダカバイオリソースの将来像」(案)に基づいて議論を進めた。

- 出席者全員の賛同が得られたため、本案を最終案とし、今後は細部を具体的に議論することにした。
- 新しい突然変異体の開発やゲノムプロジェクトの推進について意見が交わされた。
- LIVEで維持する系統の範囲、野生集団の扱い、新しい保存法の開発やバイオリソースを担当できる人材の確保などについて、意見が交わされた。

次回のメダカ遺伝資源小委員会準備委員会(平成17年10月24日予定)で、ナショナルセンターの候補機関をある程度具体的に検討できるように準備を進めることで合意した。

- 候補機関を広く想定し、可能性のある機関に打診することとした。
- 候補機関は、現時点で考えるナショナルセンターとしてのソフト面・ハード面の担当能力を次回の準備委員会で提示することとした。